



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 111

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 111. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1961, 111: 59-64

ISSUE DATE:

1961-12-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186934>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館 月 報

No. 111

1961.11月(12月10日)

録 事

11月5日 京大山本和夫教授は新水槽室建築の件で打合わせのため来館。

11月12日 新水槽に入れる目的で、串本より購入した魚類28種類約230尾は本日午後4時30分臨海浜に到着し、夕方より男子職員全員により飼育水槽、予備水槽、カメプールに搬入する。

11月13日 水族館増築に伴ない次の通り職員を増員することとなり、本日程行の田辺三新内招募広告をなす。

記

水族館研究員	1名
電気係兼飼育係	1名
飼育係	1名
事務係	1名

11月16日 明光バスKK庶務課長藤井功氏来館され、中学生観光券の処理について次の通り打合わせを行なう。明光バス観光券には小人と大人のみで中学生のがないので観光バス券のみを発売し、水族館の入場券は水族館窓口で買うようにする。

11月20日 新水槽室は本月中旬完成の予定で、19日漏水試験を行なった所、漏水箇所相当あり、この修理のためには最小限二週間を必要とするとのことで12月1日の開館は不可能となる。なお清掃の際水槽のガラス面にスリキズを多数つけてしまった。このままでは困る旨大林組にキズの処置を申し入れる。

水族館入場料の改訂は新水槽室の開館とは関係なく12月1日より行なうことに決定。

11月25日 就職希望の白浜中学校三年森山惣一君を本日面接した結果来々三月卒業後採用と決定。

11月27日 上富田町桧山嘉郎君（定時制田辺高校四年）を本日面接した結果12月1日より採用することと決定。

11月28日 当水族館研究員に就任予定の現みさき水族館飼育係長荒筈忠一氏は打合わせのため本日来館。

業 務 概 況

◎ 11月の入場者数

区 分	大 人		小 人		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
水族館発売 個人	11060	84185	255	6393	11315	90578
団体	21277	157518	—	—	21277	157518
交通公社発売	9998	62133	—	—	9998	62133
明光バス発売	21382	174763	146	7192	21528	181955
合 計	63717	478599	401	13585	64118	492184
無 料	南白浜幼稚園児他				83	1600

団 体：一般 289組、学生 25組 合計 314組

◎ 11月の事業収入 (今年度累計)

観光券売上金	1,125,637	9,100,815
{ 窓口売上	564,660	4,301,314
{ 交通公社クーポン	168,057	1,005,931
{ 明光バス観光券	392,920	3,793,570
※		
予金・積立金利息	129,000	1,038,827
手 数 料	50,375	455,510
絵はがき拂下	36,630	347,510
パンフレット拂下	960	15,060
南極生物報告拂下	—	4,576
魚 類 拂 下	—	—
雑 収 入	30,615	82,780
諸施設改善積立金より繰入	8,485	15,585,263
合 計	1,381,702	26,630,341

※ 明光バス観光券未収分 大人券 24674枚、小人券 161枚

◎ 11月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	151,817	1,292,356	
会 議 費	6,590	110,845	
備 品 費	158,930	2,332,230	ヤマハオートバイ、ラジオ他
消 耗 費	88,995	543,592	
運 搬 費	96,132	515,578	新水槽室取魚等
経 理 費	21,560	71,545	
英/他諸室費	50,609	869,816	
積 立 金	239,114	1,827,950	
予 備 費	—	—	
合 計	813,747	5,464,912	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	48,570	53,100	時岡・山路委員
奨 学 金	—	90,000	
備 品 費	—	34,294	
消 耗 費	—	—	
刊 行 費	—	590,590	
役 務 費	—	18,520	
合 計	48,570	786,504	

仏物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	27,628	284,107	
備 品 費	—	1,000	
消 耗 費	—	3,000	
役 務 費	—	—	
合 計	27,628	288,107	

臨 時 費

摘 要	金 額	累 計
水族館増築費	—	15,500,000
増築諸雑費	8,485	85,263
合 計	8,485	15,585,263

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	813,747	5,464,912
実験所経費	48,570	786,504
仏物館経費	27,628	288,107
臨 時 費	8,485	15,585,263
合 計	898,430	22,124,786

◎ 11月末現在高

前月よりの繰越	402,228.3
今月の収入合計	1,381,702
今月の支出合計	898,430
現 在 高	450,555.5

◎ 前年度との比較

	1960	1961	増 減
入 場 券 費	669,677	641,181	— 28,496

水族館記事

- ◎ 2日, モンカラカワハギ 1 個体 (体長約 22 cm) が入槽.
- ◎ 5日, 今夏生まれの アカウミカメ の仔の水槽 (NO.15) の暖房を開始.
- ◎ 7日, 体重 60 Kg を超す ウシエイ 1 個体が入槽. 延縄により捕獲されたもの.
- ◎ 12日, 増築中の水槽室の完成を控えて, 串本の西国鮮魚店より生魚 100 Kg を購入, 同店の船で運送, ウミカメ フールなどへ入れた. 含まれた魚などの種名を記すと, カワハギ, セミホウボウ, オニカサゴ, カサゴ, トラギス, アイゴ, ササノハベラ, タキベラ, キツネベラ, イラ, タカノハダイ, オキナヒメジ, イトフエフキ, コロダイ, イサギ, コトヒキ, ウメイロ, ヨコスジフエタイ, ホシタルミ, ノミノクサ, マハタ, クエ, アオナ, オオモンハタ, ホウセキハタ, バラハタ, アカハタ, ホウセキキントキ, カンパチ および コウイカ, シシイカ.
- ◎ 15日, 観覧水槽 NO.24 の溢水の半分以上をさらに新らしく ウミカメ フールへ導くように工事して, ウミカメ フールの換水をよくした.
- ◎ 16日, 塔島西側で潜水採集. ミツボシクロスズメ ハナミノカサゴ, オトヒメエビ, ベニウミトサカ, ウミシタ を入槽. ハナミノカサゴ は数日の間に死亡.
- ◎ 21日, 新水槽の完成を控えて, 高架貯水槽からの主配水管を旧来の鉛管からエンビ管 (φ4×2) に切りかえた. このため約 2 時間半にわたり給水が止まった.
- ◎ 22日, 堺市から カノコウオ, セセエビス, マツカサウオ, アカマツカサ, チョウチョウウオ, ゲンロクタイ, ミギマキ, ニザダイ が入槽.
- ◎ 29日, カマスベラ 1 個体が入槽.
- ◎ 30日, 串本から入槽した魚は, 観覧水槽の排水で飼育してあったので白臭病にかかり, 全滅に近い状態になった. 予備水槽設置が布まれる.
- ◎ 11月30日現在, 観覧水槽に飼育中の動物の種数は未調査のためおことわりします.

資 料

- ◎ 11月の気象 (9所観測)
南水槽室 (水温・比重はNO25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(22)	7	7	8
室 温(°C)	$\frac{16.8 \sim 21.6}{18.9}$	$\frac{15.3 \sim 21.4}{17.3}$	$\frac{13.5 \sim 19.5}{16.5}$
水 温(°C)	$\frac{20.20 \sim 22.80}{21.38}$	$\frac{18.08 \sim 20.38}{19.65}$	$\frac{17.34 \sim 20.42}{18.62}$
比 重(0.15)	$\frac{23.75 \sim 25.01}{24.39}$	$\frac{24.25 \sim 25.17}{24.76}$	$\frac{24.35 \sim 25.03}{24.78}$

取入口

水 温(°C)	$\frac{20.42 \sim 23.26}{21.82}$	$\frac{19.26 \sim 21.34}{20.34}$	$\frac{17.34 \sim 20.42}{18.62}$
比 重(0.15)	$\frac{24.83 \sim 25.06}{25.00}$	$\frac{24.58 \sim 25.30}{24.97}$	$\frac{24.87 \sim 25.21}{25.07}$

昭和36年12月10日 (NO.111)

編集兼
発行所

山 路 勇

発行所

瀬戸臨海実験所振興会
和可山 白浜町
瀬戸臨海実験所内
(Tel. 白浜温泉515)